

スペイン実戦総合唐手術勇善会 ヨセプ・カラモンテ師範六段と私

ヨセプ先生は2014年4月に入会されました。すでに松濤館流(しょうとかんりゅう)三段、極真(きょくしん)空手三段というベテランで、中国の大学で英語の教師をするかたわらジムで空手の指導をされていました。通信教育的に質問・回答、画像・動画のやりとりをしたのち2015年11月末に厚木に来られました。礼儀正しくていかにも武道家という方でした。3日間の研修で乾いた砂が水を吸うように学ばれ沖縄に立ち寄って帰国されました。



「今回の日本への旅行は大発見の旅でした。私が今まで経験した空手は突きと蹴りが全てでした。しかし剛柔流空手は突きと蹴りが全てではありません。もちろん突きや蹴りは重要な役割を果たしますが剛柔流五技とよばれる5つの技のカテゴリー全体が重要性を共有しています。そのことは素敵な驚きで私の空手に対する見方を大きく変えました。厚木のあと沖縄(勇善会

と親戚関係にあたる)へ行き、その剛柔流道場でもトレーニングを受けましたが稽古のポイントは厚木と同じでした。なお私の厚木訪問の最大の収穫は、そこで私が出会ったすてきな人々だと言えるでしょう。稽古や食事を共にしてくれた指導者のみなさん、少年部のみなさんに本当に感謝しています。(お礼状より)



ヨセプ先生はスペインへ帰国され警察官になりました。ある意味、伝統的な剛柔流空手を現代的な総合格闘技へ極限にまで進化させた方で、突き・蹴りに加えて関節技、投げ技、締め技、固め技もありの総合格闘技の大会にどんどん出場し多数の栄冠に輝いています。左の写真はとりわけ過酷なケージマッチ、金網で囲まれた8角形のケージ(檻)の中での試合です。最近2年だけでも2024.5 CJJ ヨーロッパ選手権大会優勝、2023.12 ICJJIF 世界大会優勝、2023.6 コンバット柔術ヨーロッパ大会優勝、2023.3 スペイン総合格闘技大会優勝と

あります。こうした実績でスポンサーが付き専用道場「実戦総合唐手術勇善会」を建て後進への指導もされています。10歳のお嬢さんが弟子第1号とのことでした。

今回の来日は親友のホセ・シェナイダー氏(空手仲間)との観光で、東京・京都・大阪を回る途中に厚木に立ち寄り私たちと再会することとなりました。ただ、この夏に病気をされ手術を受けて9月に退院されたとの知らせもあり少し心配しております。歓迎にあたり皆さまのご協力をお願いいたします。 尾本

とここまで書いて、本日11/16明け方に次のメールが届いていました。「尾本館長。勇善会の栄光のためにラトビアで開催されたICJJIF世界大会でチャンピオンになりました。金メダルまで9戦勝ちました。このタイトルをあなたと勇善会のすべての会員に贈ります。私がここにいるのは、あなたが私の本当の空手に目覚めさせてくれたあの日本訪問のおかげです。そのことに私は永遠に感謝します。あなたの健康により、私と一緒にこの勝利を祝うことができることを願っています。ヨセプ・カラモンテ」

ここまで持ち上げられると逃げたくなります。それだけ日本への想いが熱いと解釈してください。